

(様式3)

令和2年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

| | | | |
|--------|--|------|------------------------------|
| 施設名 | 伊勢市小俣総合体育館 伊勢市大仏山公園スポーツセンター | 所在地 | 伊勢市小俣町新村401-1 伊勢市小俣町新村605 |
| 指定管理者名 | 株式会社スコルチャ三重 | 指定期間 | 平成30年4月1日から令和5年3月31日 |
| 設置目的 | スポーツを通じて、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与するため | | |
| 業務内容 | 施設の利用に関する業務 施設の維持管理に関する業務 施設の管理運営に関する業務 自主事業の実施 管理業務等の報告 | | |
| 施設概要 | 伊勢市小俣総合体育館：アリーナ(観客席408席)、柔剣道場、トレーニングルーム 伊勢市大仏山公園スポーツセンター：多目的グラウンド、キャンプ場、マウンテンバイクコース | | |
| 職員体制 | 10名 | | |
| 施設所管課名 | スポーツ課 | | |

2 収支状況

| | | (A) | (B) | (C) | (単位:円) | |
|----------|--------------|--------|------------|------------|------------|-------------|
| | | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 比較(C-B) | |
| 事業 収支 | 収入 | 指定管理料 | 36,000,000 | 35,464,132 | 34,900,963 | △ 563,169 |
| | | 利用料金 | 5,135,325 | 4,913,508 | 4,030,868 | △ 882,640 |
| | | その他 | 3,144,271 | 2,166,455 | 876,571 | △ 1,289,884 |
| | | 計(a) | 44,279,596 | 42,544,095 | 39,808,402 | △ 2,735,693 |
| | 支出 | 人件費 | 14,911,883 | 20,393,323 | 18,900,658 | △ 1,492,665 |
| | | 管理運営費 | 23,282,289 | 18,757,175 | 16,886,233 | △ 1,870,942 |
| | | その他 | 1,658,832 | 1,884,970 | 2,021,987 | 137,017 |
| | | 計(b) | 39,853,004 | 41,035,468 | 37,808,878 | △ 3,226,590 |
| | 収支差引額(a)-(b) | | 4,426,592 | 1,508,627 | 1,999,524 | 490,897 |

| | |
|----------------------------------|--|
| 最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載 | 【収入】 |
| | ・指定管理料: LED化に伴う指定管理料の見直し(減額)、音響設備保守点検追加に伴う指定管理料の見直し(増額) ・利用料金: 新型コロナウイルス感染症の為、施設利用減。臨時休館に伴う伊勢市減収補填金(475,508円)を含む ・その他: 新型コロナウイルス感染症の為、自主事業収入等減 |
| | 【支出】 |
| | ・人件費: 4・5月に新型コロナウイルス感染症の為、伊勢市の指示に基づき40日間の臨時休館を行い、期間中、職員の勤務者数を減(一時帰休)。又、営業再開後も月末までの7日間、営業時間を短縮 ・管理運営費: 4・5月の臨時休館及びLED化による光熱費の減少 ・その他: 消費税増税 |

3 評価 (別表様式4に基づく総合評価)

| 指定管理者 | 市 |
|---|--|
| 指定管理3年目として前年と比較しても運営業務、施設維持管理業務、貸館業務及び利用者対応についても良く出来たと考えます。 特に新型コロナウイルスの影響による休館やキャンセル対応もトラブルなく対応することが出来ました。またキャンセルにより空いた時間も利用者呼びかけ出来る限り稼働するよう努めました。 今後は更に安心・安全な施設としていくため、老朽化した施設・設備の更新や新しい設備の導入等も担当課と協議して進めていきたい。 | 指定管理3年目であり、利用調整、利用者対応、点検及び維持補修等、施設の運営管理について、利用者とのトラブルもなく円滑かつ適正に行われていた。 今後も、サービス向上のため、利用者のニーズを探り、施設整備箇所や必要備品を当課と協議しながら、適切に管理を行ってみたい。 |

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

施設名 伊勢市小俣総合体育館
伊勢市大仏山公園スポーツセンター

| 評価項目 | | 評価 | | | | |
|-----------|----------------|-------|---|----|--|---|
| | | 指定管理者 | | 市 | | |
| 業務運営項目 | 評価の基準 | 判定 | 評価理由 | 判定 | 評価理由 | |
| 施設設置目的の達成 | ①施設の目的や基本方針の理解 | A | 施設の設置目的や基本方針をしっかり理解し管理運営を行った。 | A | 施設の目的や基本方針については事業計画書にも記載があり、日々の業務にも理解の程が見受けられた。 | |
| | ②施設設置目的の達成度 | A | 管理運営を通して、「スポーツを通じて、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与するため」という設置目的に資することができた。 | A | 利用者との円滑な調整、予約調整、安全な施設運営を行っており、設置目的は達成されている。 | |
| | ③利用者数 | B | 年間目標110,000人に対し、実績97,841人であり、目標を下回りましたがこれは新型コロナウイルスの影響によるスポーツ大会のキャンセルによるものです。 | A | 新型コロナウイルスワクチン接種会場として協力いただいているなか、管理者の努力範囲を超えており、致し方ない結果である。 | |
| | ④運営状況 | A | 業務計画書の通り、適正に施設運営を行った。 | A | 事業計画書に計画された運営が行われた。 | |
| | ⑤職員の配置状況・勤務実績 | A | 作業責任者・業務担当者を設定し、適正な配置・勤務が取れた。 | A | 事業計画書に館長・各業務担当者等、勤務体系の記載があり、それに従い、滞りなく業務が行われていた。 | |
| | ⑥意思疎通 | A | 管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。 | A | 事業計画書に規定した毎月の報告があり、突発的な事項についても適切に報告・協議がなされた。 | |
| | ⑦各種管理記録等の整備・保管 | A | 各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。 | A | 各種の記録については、適正に整備・保管がなされている。 | |
| | ⑧地域の振興 | A | 地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図られていたか。 | A | 自主事業等を通じ、地域や地域住民との交流が図られていた。 | |
| | ⑨使用許可等 | A | 使用許可等申請が適正に行なわれていたか。 | A | 使用許可等申請の取扱は適正に行われていた。 | |
| | ⑩利用料金等の徴収状況 | A | 徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。 | A | 利用料金については、帳簿等が適正に作成され、整理も行われていた。 | |
| | ⑪個人情報 | A | 個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。 | A | 社内研修が実施され、適切に処理されており、個人情報の漏洩等も発生していない。 | |
| | ⑫法令遵守 | A | 関係法令を遵守していたか。 | A | 伊勢市各条例など関係法令を理解し、遵守した。 | A |

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

施設名 伊勢市小俣総合体育館
伊勢市大仏山公園スポーツセンター

| 評価項目 | | 評価 | | | |
|-------------|-----------------------|-------|---|----|--|
| | | 指定管理者 | | 市 | |
| 業務運営項目 | 評価の基準 | 判定 | 評価理由 | 判定 | 評価理由 |
| サービスの質の向上 | ①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み | A | 弊社運営管理の市内他施設との情報交換により、利用者増加に取り組んでいます。 | A | 取り組みの効果もあり、利用者の増加につながった。 |
| | ②利用者の平等な利用 | A | 個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないよう変更があった場合は、口頭での引継ぎや社内メールを使いスタッフ全員に漏れが無いよう取り組んだ。 | A | サービス水準については、期待される水準にあった。 |
| | ③適切な情報提供 | A | 新型コロナ対応等の情報を利用者へ伝えることが出来た。 | A | 新型コロナウイルス感染防止に伴う施設利用制限やワクチン接種会場としての情報提供を適切に行われていた。 |
| | ④非常時・緊急時の対応 | A | 緊急時マニュアルを整備し、年2回防災訓練を実施している。 | A | 緊急時マニュアルの整備及び防災訓練が適切に行われていた。 |
| | ⑤苦情解決体制及び対応 | A | 利用者からの意見・苦情等に対して迅速かつ適切に対応できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。 | A | 適切に対応しており、大きなトラブルはなかった。 |
| | ⑥自主事業 | A | 利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。 | A | 年間5回を計画していたがコロナ禍のため3回の実施(内1回は中止)となりましたがスポーツ振興や地域の健康増進に寄与するイベントを行った。 |
| | ⑦事業の評価 | A | 事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。 | A | 事業時に聞き取り等で参加者のニーズを把握し、次年度の計画に繋げている。 |
| 施設・設備等の維持管理 | ①建物・設備の保守点検 | A | 建物・設備・植栽等は適切に管理している。 | B | 法定点検及び委託のほか、日常並びに定期的な点検、確認が行われ、不具合箇所について当市と協議しながら適切に処理されていたが、大仏山スポーツグラウンド案内板の汚れ等、美観保持を期待したい。 |
| | ②備品等の管理 | A | 備品は日頃より管理を行い、異常があった場合は速やかに担当課に報告し、対応を行った。 | A | 破損や紛失がなく、不具合箇所について、当市と協議しながら適切に管理されていた。 |
| | ③修繕業務 | A | 施設・設備の定期点検を実施し、異常があった場合は速やかに担当課に報告し、対応を行った。また老朽化が進んでいるため担当課と協議し適宜、修繕を行っている。 | A | 当市と協議しながら適切に管理されていた。 |
| | ④清掃業務 | A | 外部委託の特別清掃(年4回)とスタッフによる日常清掃を適切に行った。 | A | 前年度に、清掃の改善について指示したところ、迅速に対応され、以降は適切に実施されており、利用者からの指摘等は生じていない。 |
| | ⑤防犯体制 | A | 鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。 | A | 鍵の管理は適正に行われていた。戸締り等、防犯に関するトラブルも発生しなかった。 |